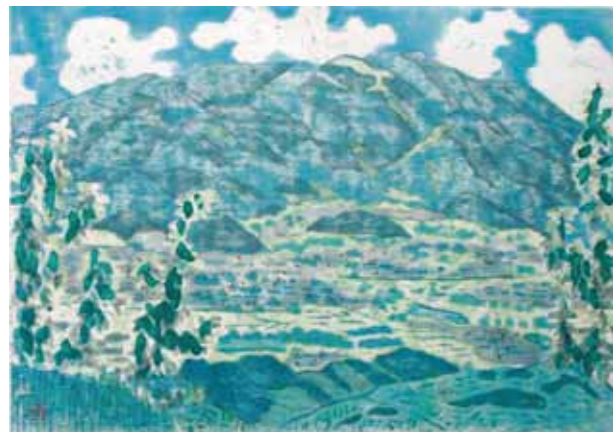


うちの道

うちの里

近

内



版画:山口 裕文

まちづくりマップ

近内の歴史

「近内」という地名は南北朝の時代には存在している。地名の由来は、はっきりしていないが、「宇智」と呼ばれた五條市北部の中では大和平野に近い部分という意味かというのが通説である。

近内は、古代には「宇智の大野」と呼ばれていた一帯にある。『万葉集』には、舒明天皇(在位期間629年~641年)が狩猟のためにこの土地を訪れた情景が詠まれているが、今も、近内の丘陵地帯にはその時代を思わせる緑の風景が広がっている。

「宇智郡」という名前が歴史書に最初に登場するのは、『続日本記』(文武2年(698年))。文武天皇(在位期間697年~707年)は藤原京からしばしば宇智野に行幸した。荒坂瓦窯など瓦生産の土地を訪れることが目的であったかもしれない。なお、近内周辺には古墳が多く点在(「近内古墳群」と呼ばれている。)し、貴重な資料が発掘されている。

御霊神社：例大祭

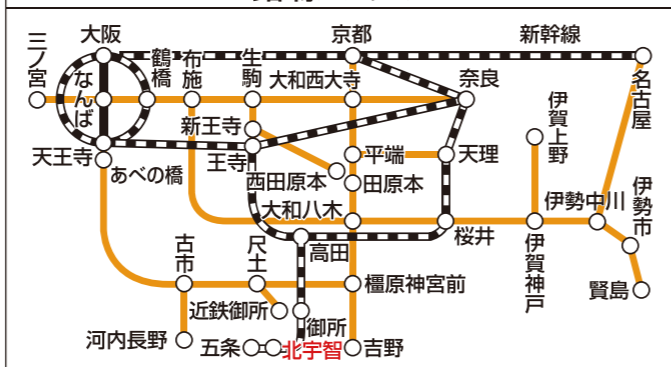
10月第4土曜日 例祭日

井上内親王の霊をなぐさめ、1年の幸福を祈願する。神幸祭後、近内町、居傳町、出屋敷町の各御旅所を神輿巡行し、本社帰還後に還幸祭を斎行。すすき提灯も奉納される。



例祭日にはすすき提灯が立ち並ぶ。

路線マップ



協働によるマップづくり

■奈良県では、地域資源を再発見するため、様々な地域でマップづくりを行っています。平成23年度は次の2地区で作成しました。

近内
(五條市)

古市場
(宇陀市)

他の地区のマップも是非ご覧ください。

奈良県まちづくりマップ 検索

■このマップは、「NPO法人うちの館と近内の有志の方々」と「なら・まちづくりコンシェルジュ(奈良県)」が協働で作成しました。

■平成24年(2012年)3月発行

■問い合わせ先:

NPO法人うちの館 (TEL 0747-22-4013)
奈良県地域デザイン推進課 (TEL 0742-27-5433)

金剛登山道

金剛山は、奈良県と大阪府の境に位置し、標高は1,125m。昭和33年に国定公園に指定された美しい山である。まれに雲海を望めることもある。

古くから修験道の霊場とされ、修験道の開祖と言われる役の行者が1300年前にこの山で修行している。江戸時代の儒学者で博物学者、貝原益軒はその著作『南遊紀行』において、金剛山の賑わいを「参詣人おびただしく、皆宿坊ありて宿するもの多し」と記している。五條側から登る金剛登山道は、小和道、天ヶ滝新道及び久留野道の3ルートがあるが、これらの道が近内で合流するため、近内は金剛山の登山口として賑わっていた。

文化3年(1806年)近内村の庄屋であった藤岡長兵衛が建てた道標が、登録有形文化財「藤岡家住宅」の前に今も残されていて「左こんがう山(金剛山)・右五条かうや(高野)」と記されている。道標に従って荒坂峠を下り、五條の市街地の方向に行くと、同じ文化3年に金剛山実相院が建てた道標がある。「金剛山道」と刻まれ、この道標が金剛登山道と伊勢に向かう伊勢街道との分岐点であった。金剛山頂にある一字一石塔は、藤岡長兵衛が吉野川の治水を願い、吉野川の石を拾って一個ずつに梵字を刻んで建立したものである。



云海



山頂の一字一石塔

写真:東野隆弘

北宇智駅のスイッチバック

北宇智駅は、平成19年3月まで、関西で唯一のスイッチバック構造を残していた駅である。最も急な勾配で20パーミル(水平距離1,000mにつき高低差20m)程度だが、明治29年(1896年)の開業時は、蒸気機関車で車両を牽引するために必須であった。昭和40年代まで、金剛山を背景に蒸気機関車が北宇智駅へとまい進する勇姿は、今なお語り継がれる。なお、スイッチバック構造であった時は、相対式ホーム2面2線を有したが、現在は1面1線となっている。



写真:小菅一己(昭和46年6月6日)



『北宇智村誌』(編者:吉田寅蔵)より



NPO法人うちの館発行『金剛山登山道』より

官選知事であり俳人でもあった藤岡長和(玉骨)

藤岡長和(明治21年5月13日生まれ)は、近内で生まれ育ち、三高から東京帝国大学法学部政治学科へと進む。学生時代与謝野寛・晶子の主宰する文芸誌『明星』に所属。多くの文人と知り会う。その後、文官試験に合格。内務官僚となって各地に赴任した。

佐賀県・和歌山県・熊本県知事を歴任し、昭和14年に51歳で退官。

その後は、大日本紡績取締役、南都銀行取締役となり、俳誌『ホトトギス』に参加。高濱虚子に師事し、俳句を行う。

玉骨は俳号で、昭和33年には『玉骨句集』を出版している。

虚子に「大和の大桜」と称讃され、毎日新聞俳壇の選者などを務めた。



『玉骨句集』より(昭和30年頃)